

令和 0 年分収支内訳書 (農業所得用)

(あなたの本年分の農業所得の金額の計算内容をこの表に記載して確定申告書に添付してください。)

提出用

(令和二年分以降用)

この収支内訳書は機械で読み取りますので、黒のボールペンで書いてください。

住所	業種名	事務所所在地	依頼税理士等
	農園名		
フリガナ氏名	電話番号	電話番号	

令和 年 月 日 (自 月 日 至 月 日)

整理番号

科 目		金 額 (円)	科 目		金 額 (円)
収入金額	販売金額 ①		経費	修繕費 ⑪	
	家事消費金額 ②			動力光熱費 ⑫	
	事業消費			作業用衣料費 ⑬	
	雑収入 ③			農業共済掛金 ⑭	
	小計 (①+②+③) ④			荷造運賃手数料 ⑮	
	農産物の期首 ⑤			土地改良費 ⑯	
	棚卸高 ⑥			その他 ⑰	
計 (④-⑤+⑥) ⑦					
経費	雇人費 ⑧			雑費 ㉞	
	小作料・賃借料 ⑨			農産物以外の期首 ㉟	
	減価償却費 ⑩			棚卸高 ㊱	
	貸倒金 ⑪			経費から差し引く果樹牛馬等の育成費用 ㊲	
その他	利子割引料 ⑫			小計 (①-⑭までの計+⑮) ⑬	
	租税公課 ⑬		経費計 (⑧-⑫までの計+⑬) ⑭		
	種苗費 ⑭		専従者控除前の所得金額 (⑦-⑭) ⑮		
	素畜費 ⑮		専従者控除 ⑯		
	肥料費 ⑯		所得金額 (⑮-⑯) ⑰		
	飼料費 ⑰		⑰のうち、肉用牛について特例の適用を受ける金額		
	農具費 ⑱				
	農薬費 ⑲				
諸材料費 ⑳					

○雇人費の内訳

氏名・住所又は作業名	日数	現金物		合計	所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額
		現	金		
	延日	円	円	円	円
その他(人分)				⑧	
計					

○小作料・賃借料の内訳

支払先の住所・氏名	小作料、賃借料等の別	面積・数量	支払額
		a・kg	円

○事業専従者の氏名等

氏名 (年齢)	続柄	従事数
(歳)		月
(歳)		
(歳)		
(歳)		
		延べ従事月数

【税務署整理欄】

⑱	
⑲	

○収入金額の明細

(令和二年分以降用)	農産物等の種類品名等	作付面積 (飼育頭羽数)	販売金額 円	家事消費金 円	農産物の棚卸高				農産物等の種類品名等	作付面積 (飼育頭羽数)	販売金額 円	家事消費金 円	農産物の棚卸高			
					期首		期末						期首		期末	
					数量	金額	数量	金額					数量	金額	数量	金額
田		a	円	円	kg	円	kg	円	特殊施設	m ²	円	円	kg	円	kg	円
									②小計							
									農産物計 (A+B)	耕作面積 a				⑤		⑥
畑									畜産物その他	頭羽						
									③小計							
		①小計							合 (A+B+C)		①	②				③

○減価償却費の計算

減価償却資産の名称等 (繰延資産を含む)	面積又は数量	取得(成熟)年月	①取得価額 (償却保証額)	②償却の基礎 になる金額	償却方法	耐用年数	④償却率 又は 改定償却率	⑤本年中の償却期間	⑥本年分の普通償却費 (②×④×⑤)	⑦特別償却費	⑧本年分の償却費合計 (⑥+⑦)	⑨事業専用割合	⑩本年分の必要経費算入額 (⑧×⑨)	⑪未償却残高 (期末残高)	摘要
		年月	円	円		年		月	円	円	円	%	円	円	
		・	()					12							
		・	()					12							
		・	()					12							
		・	()					12							
計								12					⑩		

(注) 平成19年4月1日以後に取得した減価償却資産について定率法を採用する場合にのみ④欄のカッコ内に償却保証額を記入します。

○果樹・牛馬等の育成費用の計算 (販売用の牛馬、受託した牛馬は除きます。)

◎本年における特殊事情

果樹・牛馬等の名称	取得・生産・定植等の年月日	①前年から繰越額	育成費用の明細				④本年に取得価額に算入する金額(②-③)	⑤本年中に成熟したものの取得価額	⑥翌年への繰越額 (④+⑤-⑥)	⑦、⑧、⑨の欄の金額の計算方法
			②本年中の種苗費、種付料、素畜費	③本年中の肥料、農薬等の投下費用	④小計 (②+③)	⑤育成中の果樹等から生じた収入金額				
		円	円	円	円	円	円	円		
計				⑦						